

平成26年8月19日

公益財団法人テクノエイド協会 殿

（要望者）

〒640-8550

住所 和歌山県和歌山市梅原579-1

事業者名 NKワークス株式会社

担当者所属 ロボット事業プロジェクト

担当者名 出立 祥一

電話番号 073-454-4621

電子メールアドレス shoichi.dedachi@noritsu.com

介護ロボット等モニター調査事業交付金要望書

貴法人が福祉用具・介護ロボット実用化支援事業の一環として行う「介護ロボット等モニター調査事業」について、下記の書類を添付して申請します。

記

1. 介護ロボット等モニター調査計画書（別紙）

2. 会社概要（任意様式）

社名	NKワークス株式会社
代表者	代表取締役社長 藤本 倫生
創業	2011（平成23）年2月
設立	2011（平成23）年2月
資本金	100,000,000円
株主構成	ノーリツ鋼機株式会社100%（東証一部）
事業内容	「環境」「食」「医療」「イメージング」「シニア・ライフ」という5つの柱で事業を展開し、未来を見据えた新しい価値創造に取り組んでいるノーリツ鋼機。NKワークスは、その“モノづくり”を担う中核企業として、大規模な自社工場を拠点に、各事業を支え、多彩な製品を社会に送り出しています。また、これまで培ってきた高度な開発技術や安定した生産体制を、より広く役立てるため、受託事業にも積極的に取り組んでいます。これからも、モノづくりの力で、社会をより良く変えていきます。
本社	〒640-8550 和歌山市梅原579-1 TEL：073-454-0307 / FAX：073-454-0420
取締役・監査役	
代表取締役社長	藤本 倫生
取締役	石本 賢三
取締役	宝溝 誠治
監査役	下出 一益

3. モニター調査を行う介護ロボット等の開発経過がわかる書類（任意様式）

※実績がない場合は、提出不要

弊社では、3年前から医療・介護事業を次期重点事業と捉えており、役に立つシステムの提供を目標として取り組んでおりました。その折、県内の病院からベットから転落・転倒する患者が増加傾向にあるため、直前防止を実現できるシステムの開発依頼があり、見守りシステムの企画がスタートしました。

弊社では、写真印刷機器開発に長年携わっており、コアコンピタンスとして画像処理技術を保有しておりましたので、画像処理をベースとした本システムを開発することとなりました。

(書類の取り扱い等について)

- ご提出いただく「モニター調査計画書（別紙）」は、介護施設等とのマッチングのために公開いたします。公開可能な範囲において、できる限り記載してください。
- 「モニター調査計画書（別紙）」は、介護施設等とのマッチングに際して、インターネット等を通じて登録協力施設等へ情報提供します。
- 依頼する案件について、モニター調査に協力いただける介護施設又は団体等が現れない場合には、実施できない場合もあることを予めご承知置きください。

介護ロボット等モニター調査計画書

1. 申請者の概要

事業者名	NKワークス株式会社	
担当者名	出立祥一	
担当者連絡先	住所	和歌山市梅原579-1
	電話	073-454-4621
	電子メールアドレス	Shoichi.dedachi@noritsu.com
主たる業務	介護機器の開発	
主要な製品	認知症等要介護者の見守りシステム	
希望する施設等の種類・職種等	介護月有料老人ホーム、住宅型有料老人ホーム	
希望するエリア	関東（1施設）	
その他		

2. 申請機器の概要 (可能な範囲でご記入ください。)

機器の名称 (仮称)	3次元電子マット式見守りシステム (仮称)
機器の概要 (写真を添付すること)	<p>想定する使用者の状態像、使用環境 使用者は有料老人ホーム、特別養護老人ホームなどで認知症あるいは歩行機能が低下している被介護者を介護している介護者です。</p>  <p>機器の果たすべき目的 認知症の方の徘徊あるいは歩行困難な方がベッドから立ち上がろうとして転倒したり、転落する事故を防ぐために常に見守る必要があり、業務負荷が高くなっている場合に、本機器で代わ</p>

	<p>りに見守ることで業務負荷の低減を目指しています。</p> <p>機器の機能、有用性 機能は、被介護者の動作（起き上がり、柵越え、端座位、離床）を検知し、介護者に通知すること。また、その他の検知対象動作を追加できること。異常動作を検知した前後の画像が保存されているため事故発生原因を検証できることです。 有用性は、被介護者に対しては機器が24時間継続して見守ることで転倒・転落の事故を防止・抑制できることです。また、介護者に対しては、機器が代わりに見守ることで介護業務の負荷を低減することです。また、施設に対しては、見守りに関する介護者の負荷が低減することで他のサービスを充実できることです。</p> <p>比較すべき類似の機器あるいは方法およびそれに比べて優れている点 体動ワイヤー、感圧式マットセンサー、床マットセンサーに比べて、対象動作の検知性能が高いこと。及び、非接触での検知であるため、被介護者の負担や事故の懸念がないこと。</p>
<p>現在の開発状況と課題</p>	<p>機器に関するリスクアセスメント（安全性の評価と確保対策） ※アセスメント結果資料を添付して下さい。（様式自由）</p> <p>別紙“SG-3-1_リスクアセスメントシート（見守り）”参照</p> <p>社外モニター調査の実施実績及びその結果 ※経験ありの場合は、結果を添付して下さい。（様式自由）</p> <p>経験なし。</p> <p>現在の開発に関する課題</p> <p>検知性能及び検知対象動作が市場ニーズにマッチしていることを確認する</p>

3. モニター調査したい内容（特に登録協力施設等へお願いしたい内容）

※記載にあたっては、募集要項のP8を必ず参照してください。

※以下の項目についてモニター調査したい内容について記載してください。（今回要望しない項目は「特になし」としてください。）

※委員会等の審議により採択された場合には、協会及び専門家によるアドバイスをを行います。

利用対象者の適用範囲に関すること	被介護者の疾患は、認知症（せん妄にもほぼ同様に使用可）であり、心身機能は、知的低下、歩行機能の低下、活動は、ベッドからの起き上がり、立ち上がりやベッド周囲の歩行が不安定な方です。介護者の活動としては、人員不足等で十分な巡視ができない時間帯に活用していただくことを想定しています。
利用環境の条件に関すること	以下の利用環境を想定しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 場所：介護施設 ・ 時：ベッド上にいないことが基本となる時間帯（昼間等）は使用しない。 （施設の体制によって使用時間は変化する） ・ 物：ナースコール接続端子、モバイル端末、電源コンセント、LAN ・ 人：被介護者、介護者、施設管理者
機器の利用効果に関すること	効果は、被介護者に対しては機器が24時間継続して見守ることで転倒・転落の事故を防止・抑制できることです。また、介護者に対しては、機器が代わりに見守ることで介護業務の負担を低減すること。
機器の使い勝手に関すること	機器の操作性、形態性について、見守り対象者（被介護者）の状態を他の介護作業の負担にならず、確認できること。
介護現場での利用の継続性に関すること	特になし。
その他	

（注）必要に応じて記載欄を増やして記入してください。

4. モニター調査に必要な資金内訳

(1) 資金計画

区 分	金 額	備 考
交付金要望額	0円	
経済産業省の補助金	62,115千円	
自己資金	37,494千円	
借入金等	0円	
合 計	100,109千円	

(2) 積算内訳 (経費区分につきましては、別添「対象経費」を参照してください。)

経費区分	支出予定額	積算内訳
研究員費	16,594,400円	
設備費	9,720,000円	
物品購入費	1,539,000円	
外注費	69,120,000円	
その他諸経費	3,132,000円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
合 計	100,109千円	

(注意事項)

1. 経費区分につきましては、別添「対象経費」を参照してください。
2. 消費税相当額は各経費に含めて記入してください。
3. 自己資金・借入金等を含む場合には、交付金による要望額が分かるよう明確に区分して、記入してください。
4. 経済産業省「ロボット介護機器開発・導入促進事業」において、採択された案件につきましては、モニター調査に係る部分のみ、記入してください。費目は経済産業省に提出している費目の項目で構いません。